

要望書



佐世保市
佐世保市議会

佐世保大塔IC周辺の渋滞対策の早期実施について

日頃より、本市の市政運営につきまして、多大なるご支援、ご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、平成23年に暫定2車線で供用されました、西九州自動車道 佐世保道路は、通行車両が増えるにつれ、交通渋滞や事故発生率の高さなど、高速定時性や安全性の確保に課題が大きいことから、佐々ICから佐世保大塔IC間の4車線化の事業認可が示され、令和7年3月には佐々ICから佐世保中央IC間(L=9.9km)が供用し、現在、令和9年度の全線供用に向け、順調に事業が進められております。

一方で、4車線化により利便性が向上し、道路利用者の増加も見込まれますが、とりわけ佐世保大塔ICについてはインターチェンジの構造的な影響が非常に大きく、料金所先が一般道と平面交差する信号交差点でありますことから、西九州自動車道から国道205号へのアクセスがスムーズにできない状況です。佐世保道路の4車線化完成後は、本線上の渋滞は解消するものの、佐世保大塔IC周辺のボトルネックによる渋滞の深刻化が懸念されます。

現在、国土交通省 長崎河川国道事務所において交通量調査を実施し、その対策検討がなされておりますが、令和9年度の全線供用が間近に迫っている中、早期対応が急務であり、このままでは4車線化の効果を十分に発揮できない状態が想定されます。

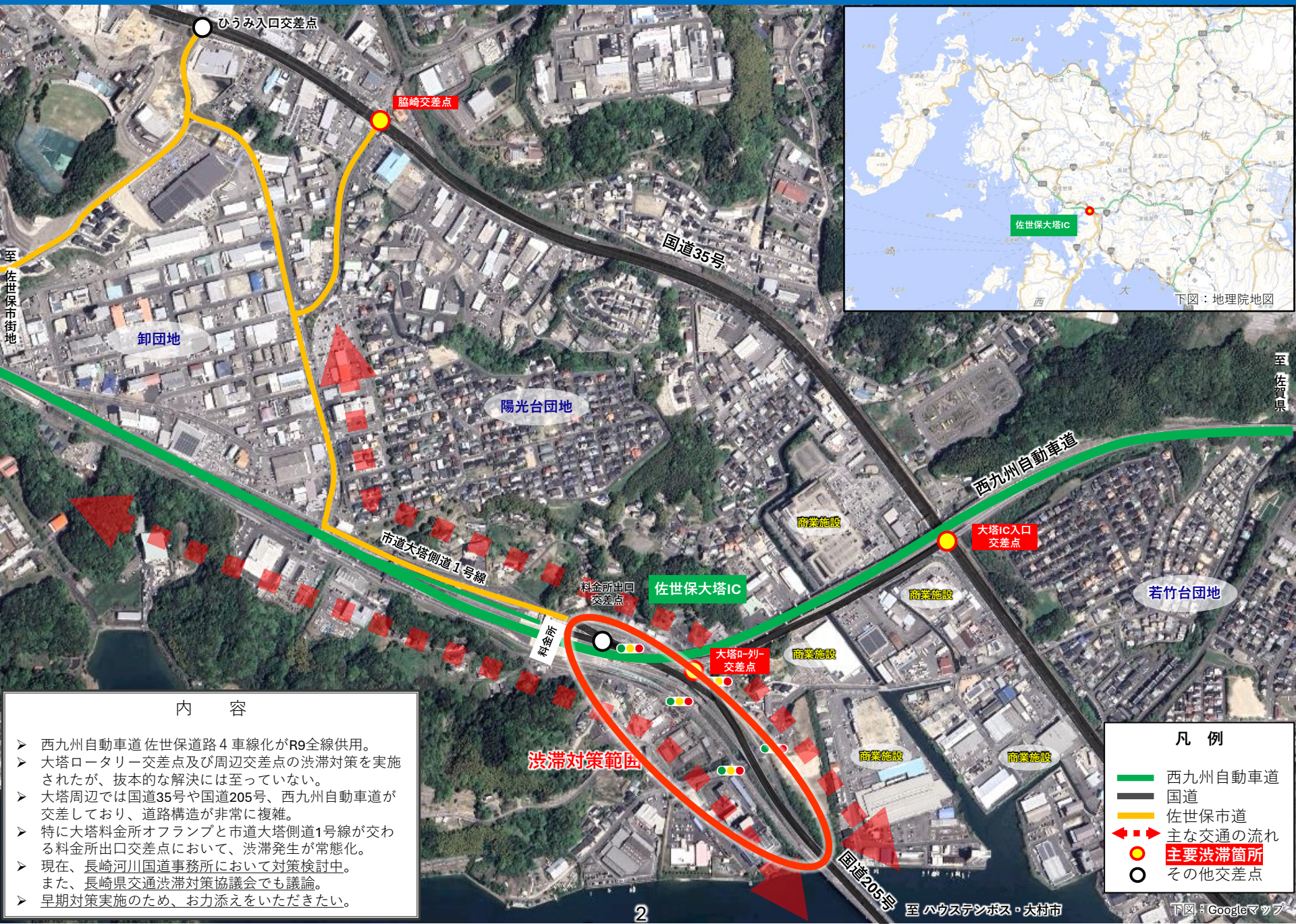
つきましては、佐世保大塔IC周辺の渋滞対策の早期実施におきまして、格段のご高配を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

令和 7年 8月29日 佐世保市長

宮島 大典

佐世保市議会議長 久野 秀敏

佐世保大塔IC周辺の渋滞対策

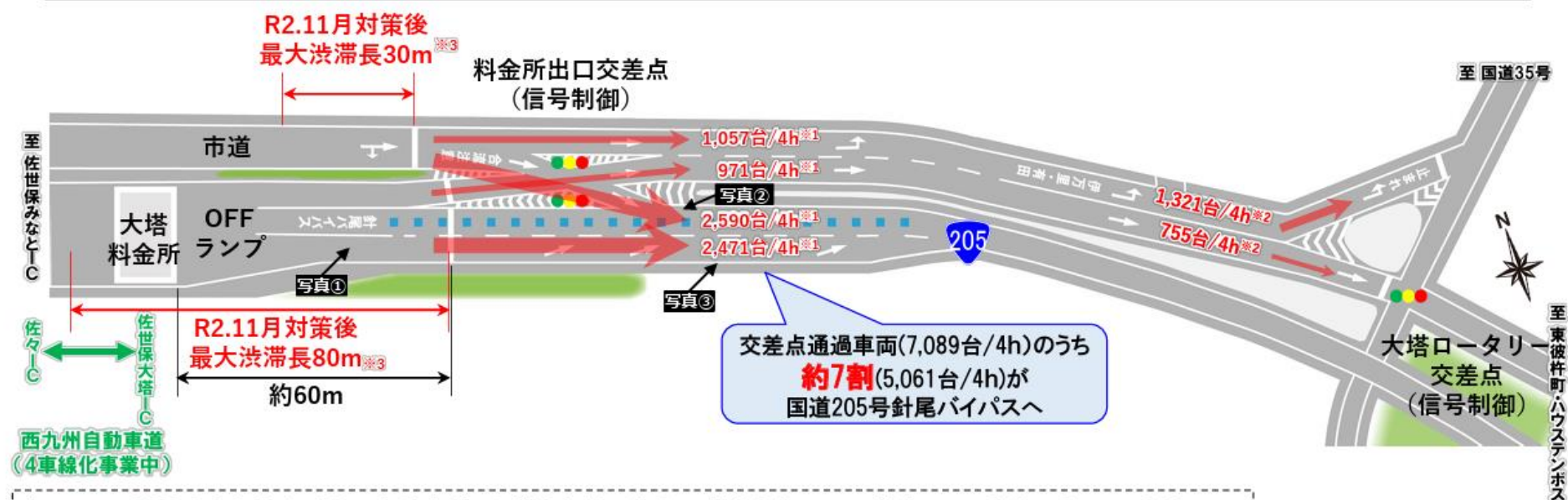


5. 今後の渋滞対策について

(4)大塔ロータリー周辺の渋滞対策検討について

■料金所出口交差点の交通状況

- ・混雑している料金所出口交差点付近の交通状況を詳細に確認したところ、西九州道料金所側及び市道側から流入した車両の約7割が国道205号針尾バイパスに向かっている。
- ・西九州道佐々IC～佐世保大塔IC区間は4車線化事業中であり、完成後はさらなる交通量増加が見込まれることから、料金所出口交差点における渋滞対策を検討に活用するための交通状況調査をR6年6月に実施した。



【R2.11月対策内容】料金所出口交差点付近で「停止線の前出し」「導流線の設置」「絞り込み車線の変更」を実施。



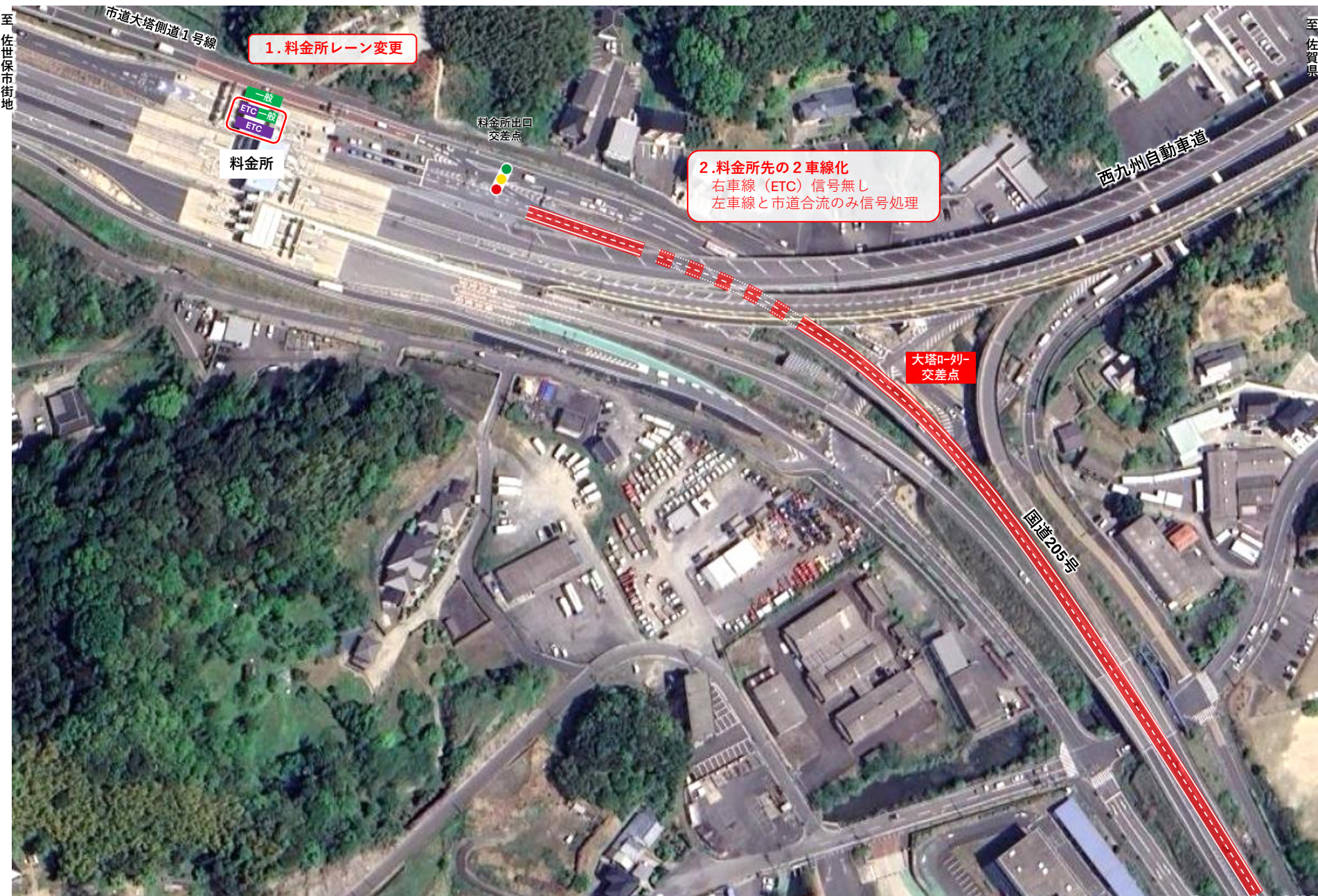
- ※1: 交通量は令和4年10月21日(金)の観測結果(15時～19時)
- ※2: 交通量は令和5年 2月28日(火)の観測結果(15時～19時)
- ※3: 渋滞長は令和2年12月15日(火)の観測結果(15時～19時)

佐世保大塔IC周辺の渋滞対策 改良案

下図：Googleマップ

至 佐世保市街地

至 佐賀県



至 ハウステンボス・大村市

佐世保大塔IC周辺の渋滞対策 改良案

下図：Googleマップ

1.料金所レーン変更



2.料金所先の2車線化

